

平成29年度 構造設計1級建築士 法適合確認 対策講座【日曜コース】日程表(6月開講)

●早期受講

・先行講座(構造設計1の「構造力学」(3時間))を平成28年7月上旬より先行受講可能

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等
1	H28. 7月 月上旬～	1時間	構造力学	トラス、振動・剛性マトリックス、座屈	代表的な構造力学の問題解法を確認する
2		1時間		たわみ、降伏と終局	
3		1時間		曲げによる降伏と終局、水平力の分担	

・構造設計1級建築士 必修項目習得講座(7時間)

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等
1	H28. 10月 月下旬～	1時間	構造力学	静定構造物、断面の性質と応力度、部材の変形、不静定構造物1	建築構造の基本事項を確認する
2		1時間		不静定構造物2、座屈、振動、骨組の塑性解析	
3		1時間	各種構造・材料	構造設計の基礎、構造計画等	
4		1時間		鉄骨造	
5		1時間		鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造	
6		1時間		基礎構造	
7		1時間		木造、その他の構造等、建築材料	

●構造設計1級建築士 法適合確認 対策講座 (平成29年)

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等	
	6月開講					
1	6/25(日)	9:00～14:30	5.5時間	法適合確認1 ガイダンス 許容応力度計算1～4 (荷重外力、応力計算、使用上の支障) 耐震二次設計1・2 (RC造の耐震計算ルート 他) 保有水平耐力計算1・2 (崩壊荷重の計算 他)	・各項目について出題ポイントを理解し、解答力を高める ・計算問題について手計算での手順をマスターする	
2	7/2(日)	9:00～14:30	5.5時間	法適合確認2 保有水平耐力計算3～5 (S造・RC造の保有水平耐力計算) 基礎構造1～3 (地盤、杭、直接基礎) 鉄骨造1～5 (許容応力度計算、保有水平耐力計算 他)	・講義の流れ ポイント集と黄色本を活用した講義&例題演習 ↓ 演習テスト 演習テスト ↓ 演習テスト解説 ↓ フォローアップ学習	
3	7/9(日)	9:00～14:30	5.5時間	法適合確認3 鉄骨造6・7 (柱脚、冷間成形形鋼管 他) 鉄筋コンクリート造1～3 (剛性、靱性、ピロティ 他) 鉄骨鉄筋コンクリート造1・2 (耐力、各部の設計 他) 免震構造・制振構造(減衰 他)/限界耐力計算/非構造部材 経験記述 (構造設計業務についての記述)	↓ 復習テスト	
4	7/16(日)	9:00～13:00	4時間(演習3h+解説1h)	模擬修了考査(1)	平成29年度模擬修了考査(1)(法適合確認)演習・解説	・本考査の予想問題での実戦形式演習と添削で、中間期での到達度確認と学習対策を行う 添削あり
5	8/6(日)	9:00～13:00	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認4	平成25年度修了考査(法適合確認)演習・解説	・本番形式でのアウトプットトレーニングを過去修了考査問題を利用して行い、実戦力を高める
6	8/20(日)	9:00～13:00	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認5	平成26年度修了考査(法適合確認)演習・解説	・添削を受け、到達度確認と記述答案、計算手順の修正を図る
7	9/3(日)	9:00～13:00	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認6	平成27年度修了考査(法適合確認)演習・解説	・講義の流れ 修了考査演習 ↓ 解説 添削あり ↓ フォローアップ学習
8	9/17(日)	9:00～13:00	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認7	平成28年度修了考査(法適合確認)演習・解説	
9	10/1(日)	9:00～13:00	4時間(演習3h+解説1h)	模擬修了考査(2)	平成29年度模擬修了考査(2)(法適合確認)演習・解説	・本考査の予想問題での実戦形式演習と添削で、到達度確認と最終修正を図る 添削あり

※講座日程および学習カリキュラムについては、変更を行う場合があります。

■ご注意

構造設計1級建築士講習テキスト(通称:青本)は、本講座の教材に含まれません。なお、本講座の教材である「ポイント集」「修了考査問題集」に掲載している青本での該当するページ番号は、前年度の青本をお持ちの方向けの参考情報です。お持ちでない方は、本講座の受講には支障ありませんが、当年度版配付後にご活用下さい。

9月(公財)建築技術教育普及センター講習受講(2日間)
10/15(日)(予想) 構造設計1級建築士講習 修了考査

平成29年度 構造設計1級建築士 法適合確認 対策講座【水曜コース】日程表(6月開講)

●早期受講

・先行講座(構造設計1の「構造力学」(3時間))を平成28年7月上旬より先行受講可能

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等
1	H28. 7月 月上旬～	1時間	構造力学	トラス、振動・剛性マトリックス、座屈	代表的な構造力学の問題解法を確認する
2		1時間		たわみ、降伏と終局	
3		1時間		曲げによる降伏と終局、水平力の分担	

・構造設計1級建築士 必修項目習得講座(7時間)

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等
1	H28. 10月 月下旬～	1時間	構造力学	静定構造物、断面の性質と応力度、部材の変形、不静定構造物1	建築構造の基本事項を確認する
2		1時間		不静定構造物2、座屈、振動、骨組の塑性解析	
3		1時間	各種構造・材料	構造設計の基礎、構造計画等	
4		1時間		鉄骨造	
5		1時間		鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造	
6		1時間		基礎構造	
7		1時間		木造、その他の構造等、建築材料	

●構造設計1級建築士 法適合確認 対策講座 (平成29年)

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等
	6月開講				
1	6/28(水)	9:00～14:30	5.5時間	法適合確認1 ガイダンス 許容応力度計算1～4 (荷重外力、応力計算、使用上の支障) 耐震二次設計1・2 (RC造の耐震計算ルート 他) 保有水平耐力計算1・2 (崩壊荷重の計算 他)	・各項目について出題ポイントを理解し、解答力を高める ・計算問題について手計算での手順をマスターする
2	7/5(水)	9:00～14:30	5.5時間	法適合確認2 保有水平耐力計算3～5 (S造・RC造の保有水平耐力計算) 基礎構造1～3 (地盤、杭、直接基礎) 鉄骨造1～5 (許容応力度計算、保有水平耐力計算 他)	・講義の流れ ポイント集と黄色本を活用した講義&例題演習 ↓ 演習テスト 演習テスト ↓ 演習テスト解説 ↓ フォローアップ学習
3	7/12(水)	9:00～14:30	5.5時間	法適合確認3 鉄骨造6・7 (柱脚、冷間成形形鋼管 他) 鉄筋コンクリート造1～3 (剛性、靱性、ピロティ 他) 鉄骨鉄筋コンクリート造1・2 (耐力、各部の設計 他) 免震構造・制振構造(減衰 他)/限界耐力計算/非構造部材 経験記述 (構造設計業務についての記述)	↓ 復習テスト
4	7/19(水)	9:00～13:00	4時間(演習3h+解説1h)	模擬修了考査(1)	平成29年度模擬修了考査(1)(法適合確認)演習・解説 ・本考査の予想問題での実戦形式演習と添削で、中間期での到達度確認と学習対策を行う 添削あり
5	8/9(水)	9:00～13:00	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認4	平成25年度修了考査(法適合確認)演習・解説 ・本番形式でのアウトプットトレーニングを過去修了考査問題を利用して行い、実戦力を高める
6	8/23(水)	9:00～13:00	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認5	平成26年度修了考査(法適合確認)演習・解説 ・添削を受け、到達度確認と記述答案、計算手順の修正を図る
7	9/6(水)	9:00～13:00	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認6	平成27年度修了考査(法適合確認)演習・解説 ・講義の流れ 修了考査演習 ↓ 解説 添削あり ↓ フォローアップ学習
8	9/20(水)	9:00～13:00	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認7	平成28年度修了考査(法適合確認)演習・解説
9	10/4(水)	9:00～13:00	4時間(演習3h+解説1h)	模擬修了考査(2)	平成29年度模擬修了考査(2)(法適合確認)演習・解説 ・本考査の予想問題での実戦形式演習と添削で、到達度確認と最終修正を図る 添削あり

※講座日程および学習カリキュラムについては、変更を行う場合があります。

■ご注意

構造設計1級建築士講習テキスト(通称:青本)は、本講座の教材に含まれません。なお、本講座の教材である「ポイント集」「修了考査問題集」に掲載している青本での該当するページ番号は、前年度の青本をお持ちの方向けの参考情報です。お持ちでない方は、本講座の受講には支障ありませんが、当年度版配付後にご活用下さい。

9月(公財)建築技術教育普及センター講習受講(2日間)
10/15(日)(予想) 構造設計1級建築士講習 修了考査